



たんぽぽぐみだより

2019年 11月 第3号

朝晩の冷え込みが厳しくなり、秋から冬へとバトンタッチするのももう少しです。毎日パワフルな子ども達とたくさん体を動かし、丈夫な体づくりを行っていきたいと思います。

また、気温の差が大きく体調管理が難しい時期なので、衣類の調節など十分に気を付けて過ごしていきたいです。



おはなしだいすき♪

4月当初は、喃語や単語、オウム返しが中心だった子ども達。だんだん言葉数が増えてきて、身近な物を単語で言ったり、友達や保育士を名前で呼べるようになりました。月齢の高い子は、二語文以上でお話が出来たり、友達が何か出来たときに、「すごいね！」や「上手だね！」と褒めてあげられる子もいます。月齢の低い子は、「わんわん、いた」や「ちょうだい」など、見た物やして欲しいことを言葉で伝えられるようになってきました。また、みんな目に入る物全てに興味を沸いて、「これなに？」「あれは？」と質問攻めの毎日です。

月齢に関係なく個人差がありますが、お話をすることが大好きな気持ちはみんな一緒です。私たち保育士は、返答はなくてもたくさん話しかけたり、いろいろな言葉を聞かせたり、ゆっくりと大きな口を開けてわかりやすい言葉で話しかけるなど、工夫をして子ども達とお話を楽しんでいます。

いっぱいお外で遊んでいます！

「今日はお外で遊ぶよ！」と伝えると、保育士と一緒に靴下や靴を履いたり、カラー帽子を被り戸外へ出る準備。保育士が、「遊んでいいよー」と声をかけると、「やったー！」と元気いっぱい走り出して行きます。最近では、友達と仲良く遊ぶ姿が多く見られます。砂場では、おもちゃの箱をひっくり返し、テーブルに見立ててごっこ遊びがスタート。お茶碗やコップに砂を入れて、「できましたよー」「いただきます」と、楽しんでいます。また、砂山に挑戦する子が増えてきました。四つん這いになって頑張って登り、頂上から、「やっほー！」「おーい！」と満面の笑みを見せてくれます。

行動範囲も広がり、走ったり駆け上がったたりすることが出来るようになった反面、コントロールが出来ずに、バランスを崩して怪我に繋がるが多くなります。1人ひとりの安全に配慮しながら、これからも楽しく遊んでいきたいと思っています。



いっぱい遊ぶぞー！



どんな形が出来たかな？

